荒川区商店街連合会機関紙

荒川区商連ニュース

No.243
2016.2.29

商業感謝まつり
バス旅行&観劇招待

富士山や駿河湾が望める日本最長の箱根西麓・三島大吊橋

平成27年度商業感謝まつりの当選景品、日帰りバス旅行（修善寺温泉）と明治座観劇招待が好評のうちに実施された。明治座観劇は1月24日（日）、113組226名の招待。バス旅行は2月14日（日）と21日（日）の2日（各バス3台）に分けて実施。招待数は各113組226名、今年度のバス旅行招待は2月14日に雨天、21日は交通渋滞にぶつかりそれぞれ一部予定を変更し実施した。明治座観劇招待日は天候にも恵まれ、好評のうちに終了した。

世界文化遺産に登録された韮山反射炉

発　行
荒川区商店街連合会
〒116-0002
荒川区荒川 2−2−3
荒川区役所 6 階
産業振興課内
TEL 03-3803-3003
FAX 03-3802-3646
発行人　小野塚　鷹一

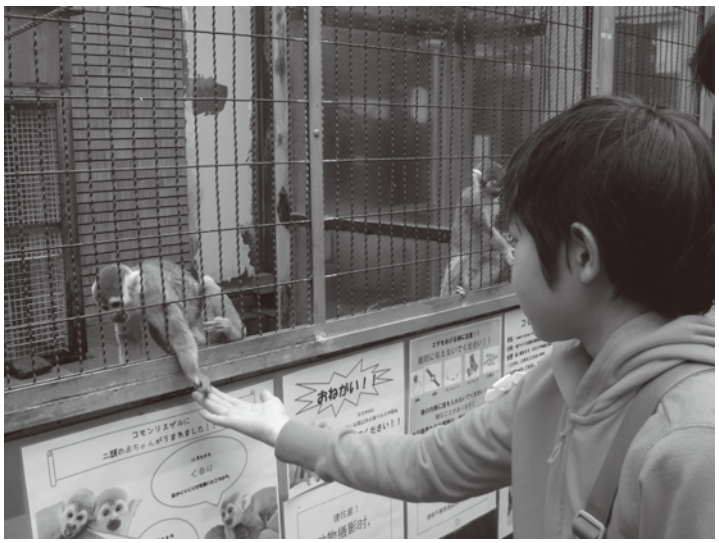
編　集
諏訪山デザイン事務所
Eメール：
arakawa@j-passage.com
下記の区商連ニュースHPから
バックナンバーが閲覧できます。
www.j-passage.com/arakawa

本号の主な内容

■日帰りバス旅行内容

日帰りバス旅行は、区役所前を午前7時半に出発。14日は雨天のため三島大吊橋から伊豆みんなのハワイアンズ見学に変更、その後は、伊豆の名湯修善寺・桂川で山海の幸の昼食、温泉入浴。午後は世界遺産・韮山反射炉を見学、沼津で海産物ショッピングを楽しみ、予定通り午後6時半に終了。

21日は晴天の日和、予定通り三島大吊橋を見学、桂川で入湯と宴会後、午後は道路渋滞で時間調整のため、韮山反射炉見学を外し、海産物ショッピングで終了、渋滞で帰りの時間は遅くなった。今回は様々な要因が重なり、すべて順調とは行かなかったが、役員の対応で実施する事が出来た。



IZU・WORLDみんなのHawaiiansにて（雨天開催の14日）

桂川での昼食・宴会風景

■明治座1月特別公演観劇報告

1月24日夜の部の明治座1月特別公演は「新春特別公演」と題し、伍代夏子、藤あや子の競演。

明治座の開演風景

開演は午後4時からにも係らず明治座には昼前から、良い席を求めお客様が並んだ。午後2時から当選券と座席指定チケットの引換には100名以上が行列、その後の開演時間を待った。演目は一部が泉鏡花作の劇「日本橋春秋」、二部は二人の歌謡ショー「新春大江戸歌絵巻」。招待者は二人の人気歌手の熱演で楽しんだ

あらかわの大晦日風景

三の輪銀座商店街のアーケードの賑わい

12月31日の大晦日、昼下がりに三の輪銀座商店街（愛称ジョイフル三の輪）のアーケードを訪問した。ニュースの話題になる築地場外やアメ横のように有名ではないが、ここ荒川区のパサージュとも云える三の輪銀座商店街も師走のお買物客で賑わっていた。

年越しそばや天ぷらを買い求める人で賑わう店先

都電荒川線の始発駅の三ノ輪橋駅から次の駅の荒川一中前駅までの約4百メートルに並行する形で、三の輪銀座商店街（愛称「ジョイフル三の輪」）のアーケードはある。全国各地で商店街のオープンモールが主流の現在、光が射す素通しの屋根がこれだけ続く商店街は少なくなった。

ここの屋根は2階建ての各店舗の高さに合わせ設置されていることもあり天井までかなり余裕の高さがある。当然ながら商店街では、雨の日も傘を気にしないでショッピングに専念できる。また、炎天下の夏は、強い日差しを遮るなど、維持するコストの問題も大きいが、集客に苦戦する商店街が多い中、大きな効用をもたらしている様子が感じられる。

営業時間帯は自転車以外の車輌通行禁止で、歩行者が安心して歩ける通りとなっている。アーケード内は食料品や生活用品を中心に百店以上の店舗が連なり、特に午後から夕方の時間帯は賑わう。

全国の商店街が厳しい昨今、三の輪銀座商店街を取り巻く商環境も厳しいことは否定できない。

少し古いデータで恐縮だが全国の食品小売業の店舗数（商業統計２００７年データ）はその5年前と比べ、20％以上も減少している。全国各地の商店街では、それだけお店のシャッターが閉まって空き店舗が増えていることになる。

ここ三の輪銀座商店街は平日の昼下がりも多くの人出がある。隣接した場所にスーパーのヨーカドーがあり、さらに明治通りを挟んでオリンピックも出店しているが、商店街での対面販売でのお買物の楽しさは、量販店のスーパーとは一味違う魅力があり集客力は負けていない。

今回の晦日取材でも、長い商店街全域で大混雑とまではいかなかったが、写真の通り、各所で多くの買い物客で混雑した。

アーケードつながりの企画記事として、次ページでパリの事例を紹介させていただく。ここ三の輪も東京下町のパサージュとして、再認識しても良いのではと思うのだが。

通路が買い物客で身動きも大変な混雑ぶりの三の輪銀座商店街のアーケード

パリ最古のパサージュのパッサージュ・デ・パノラマ

商店街の原風景とも云えるパリの屋根つき商店街
世紀を越えて存在する魅力の商業空間パサージュ

●パサージュの成り立ち

パサージュはフランス語で「通路」や「小径」などの意味、日本語で言うとアーケード付き商店街のことになる。歩行者専用の通路をガラス製の屋根で覆い、通路の両側にお店を並べた商店街として、18世紀末頃からパリを中心に建造された。

当時のパリは、馬車が主な交通手段の時代で、歩道が整備されておらず、雨の日はぬかるんだ道を歩かなければならなかった。そのため、天候に左右されずに快適なショッピングを提供する空間として成立し、多くの買い物客で繁栄した。

19世紀に大型の商業施設として百貨店が出来るまで高級商店街として隆盛したが、商業環境が変化する中で、多くが廃止され、残ったパサージュも寂れていたが、近年パリの文化資産として見直す動きのなか、改装やリニュアルで徐々に人気を高め、再評価されて、現在はパリ市内には十数箇所が残っている。

2003年頃のパサージュ・デ・ショワズール

上記のパサージュ・デ・ショワズールは筆者が13年程前に訪れた際の写真だが、きれいで明るいとはとても云えず、寂れた印象だった。

だが今はどこもオシャレなスポットとしてよみがえった。表題のパサージュ・デ・パノラマはパリで最古の歴史を誇る。時代を経過した内部の装飾も一見の価値があり、ショッピング以外の散策でも楽しい空間となっている。


パサージュ・ジュフロワの外観

パサージュ・ジュフロワの入口

●パサージュの現在

特に事例紹介するパッサージュ・ジュフロワはオペラ座やギャラリー・ラファイエットに近いパリの中心2区にあるということもあり、パサージュでは一番の人気スポットになっている。

1836年に、当時は劇場街だった地域に造られ、他のパサージュ同様、忘れ去られ寂れていたが、1987年に現在のように改装された。

観光客に人気のグレヴァン蝋人形館や、NHKの世界ふれあい街歩き番組で紹介されたホテル・ショパンが入っている。番組では普通の街来者には知る事が出来ないパサージュの上階にある居住区の明るい日差しの入る回廊や、地下の通路や設備も紹介された。またテナント同士の交流など、日本の商店街とは異なる状況にもふれ、パリのひと味違った個店経営の環境が感じられた。

通路は天井が非常に高いので、少し狭いように見えるが、実際に通るとかなりゆったりと歩ける。鉄とガラスで出来た天窓は中央がドーム上に膨らみ、リズムカルな繰り返しの枠が独特の光となって内部に入る。設置された照明もアンティークな器具で、人工的な蛍光灯と異なる暖色系の温かい光を放っている。

また、一見すると店舗は平屋に見えるが、お店に入ると奥まった場所に鋳造で造られた骨董品のような螺旋階段が上階に伸びていて、2階もあり店舗や倉庫に使われている。また階段自体がお店を魅き立てる素敵なディスプレーにもなってる。

通路の床面はモノトーンの白・グレー・黒の市松模様の繰り返しで、長い歴史を感じさせるモダンなデザインになっている。

パサージュ・ジュフロワの内部

現在のパサージュ内は創設期の高級というより、庶民的な雰囲気で、アンティークなおもちゃのお店、映画パンフレット専門店、万年筆専門店、ステッキ専門店、フランスの伝統菓子店、レストラン、ホテルなどの店舗が入っている。

同じ2区にあり、一緒に訪れやすいギャラリー・ヴィヴィエンヌやパサージュ・デュ・グラン・セールも同様に必見の価値がある。

少し離れるがパリ6区のサンジェルマン・デプレに近い場所でひっそりとした佇まいあるクール・デュ・コメルス・サンタンドレ。パリ10区にあるインド・パキスタン人街にあるエスニックなムードをたっぷりのパサージュ・ブラディなど、パリには、紹介したい素敵なパサージュがまだ数多くある。

買い物をしなくても、のんびり歩いたり、カフェでお茶するだけで楽しい。それがパサージュであり、これもまた商店街のあるべき姿のひとつだと思うのだが。

ホテルもあるパサージュ・ジュフロワ

パサージュ・ジュフロワ内の段差のあるコーナー

第7回 街なか商店塾「チャレンジ！特集」を開催

区商連加盟の31店舗が50講座を開催し、下町商店の魅力をPR

2月20日（土）から3月19日（土）までの間、区内商店街の商店主等が講師となり、自店の特長・専門知識をレクチャーする少人数制のセミナー「第7回街なか商店塾」が開催されている。

荒川区の「街なか商店塾」は、区内全域の様々な業種のお店が参加し、バラエティーに富んだ講座をお客様に提供しているのが特長である。また、一般講座に加え、親子で楽しめる講座や季節に合わせた講座などお客様の興味深いテーマに的を絞った特集講座も開催し、受講者の皆様から「普段利用しないお店でしたが、商店の良さを知る機会になりました。」「職人の技術を間近で見られ、良い経験になりました。」と好評の声をいただいている。これまで、「街なか商店塾」を開催するごとに約400人のお客様が区内商店街を訪れ、身近な商店の魅力を実感いただいている。

今回の特集講座は、「チャレンジ！特集」と題して、各店舗が初披露の講座や新たな魅力をPRするため工夫を凝らした講座に取り組んでいる。一部の講座では、受付開始から早々に予約が定員に達し、予定の時間以外にも講座を開催する商店も出るなど、お客様に寄り添った対応でお店を積極的にPRしている。

区では、参加店に向けて、にぎわいコーディネーターがアドバイスを行うなど支援体制も強化している。商店街に活気を取り戻すため、商店の皆様が積極的に「街なか商店塾」に参加し、リピーターの獲得や個店間のネットワーク拡充を図るとともに、更なるお店の発展・魅力向上のため「一店逸品運動」にもチャレンジされることを期待している。

特集講座

●「ちりめん細工・お手玉人形」

ビューティサロンぼたん

～三の輪銀座商店街振興組合～

今回、初参加のビューティサロンぼたんでは、店主の齋藤さんがちりめん細工・お手玉人形の作り方をレクチャーした。齋藤さんの優しい人柄が伝わる講座内容で、参加した方々は互いの作品の出来栄えとともに会話を楽しむ様子がみられた。店舗に隣接したギャラリーには、沢山の作品も展示されており、これからも商店街に足を運んでいただく契機となった。


ビューティサロンぼたん　講座風景

一般講座

●「部分浴にもおすすめ 天然アロマバスソルト」

千の香

～日暮里銀座実業会～

千の香では、天然塩を使用したアロマバスソルト作りの講座が開催された。参加者は、講師からさまざまな香りの特長や揮発性の違いなどの説明を受けた後、香りのブレンド作業に着手した。調和の取れた香りの組み合わせ方などプロならではのアドバイスをもとに、参加者は試行錯誤を繰り返し、香りの組み合せや変化を体感した。積極的な質疑応答も行われ、店舗をよく知ってもらう機会となった。


千の香　講座風景

■本欄へのお問い合せ等は、産業振興課商業振興係まで
TEL3802・4674 FAX3803・2333

地域のお年寄りに万引きさせないまちづくり

都商連調査・高齢者の万引き対応調査報告書の紹介

東京都商店街振興組合連合会では、平成27年度商店街活性化推進調査・研究事業の一環として高齢者の万引き対応調査報告書を作成した。

近年、万引きの検挙者数は、青少年よりも高齢者の方が多いという警視庁報告を受け、商店街へのヒアリングや物販商店主へのアンケート調査をおこなった結果を発表した。

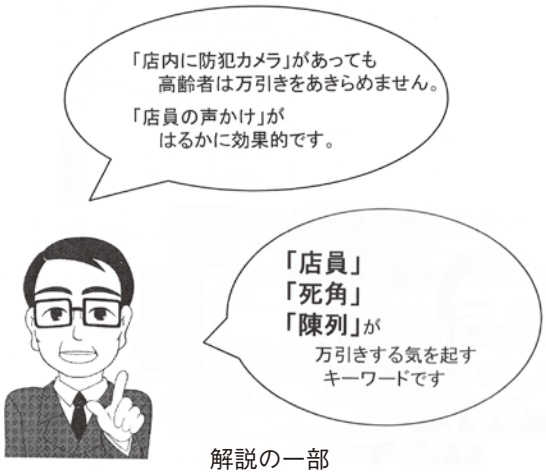
報告書によると、高齢者の万引き犯への対応は、近隣住民との人間関係を崩したくないという商店主のためらいや、警察への届出の手間と時間に躊躇する問題があると分析。

この問題には、4人に1人が65歳以上という高齢化社会の中で、万引き問題だけにとどまらず、地域や社会に対して個店でできること、商店街でできること、また地域との協力・協働でできることの3つを一体と考える時代が商店街を取り巻く環境に到来していると総括。

紙面は右図のようなマンガ形式で、商店主、お年寄り、アドバイザーの先生が登場し、万引きを誘発する原因や万引きされやすい商品、その対処や発見の際の対応など全24ページで紹介。万引き問題でお困りの個店には、有効な対応を考える上で役立つガイドとなっている。

2月に各振興組合に配布されているが、ご覧になりたい方は商連事務局までお問い合わせ下さい。

報告書の表紙



解説の一部

区商連青年部だより㉕

◆産業展に共同出展

区商連青年部員が中心となって活動している「あらかわ逸品の会」の全会員12店（物販8店、飲食2店、サービス2店）は、3月12、13日に荒川総合スポーツセンターで行われる、荒川区産業展に共同出展し、研究成果を来場者に披露する。

◆二世研修会は4月14日開催

二世研修会（区振連主催、青年部運営）を4月14日(木)に開催する。会場は区役所6階会議室を予定。

今年の主要テーマは来年度に都及び区が実施する個店向け補助事業対策を中心に、専門家によるセミナー形式の研究会の実施を検討している。

区商連新年賀詞交歓会

消費税対策も踏まえ繁盛商店街を目指す！

区商連では平成28年の新年賀詞交歓会を1月14日午後、日暮里駅前ホテルラングウッドで開催、来賓、各商店街の役員を含め82名が参加した。

会は鷲見志雄副会長の司会で進行、杉山六郎副会長の開会の辞、主催者（小野塚鷹一会長）、来賓（西川太一郎荒川区長、桑島俊彦都商連会長、斎藤泰紀荒川区議会議長、松島みどり衆議院議員、鈴木貫太郎都議会議員、崎山知尚都議会議員）の挨拶、続いて司会による全来賓の紹介、懇親会（乾杯の音頭は東京商工会議所荒川支部富永新三郎会長）、木村剛司元衆議院議員、瀧口学前都議会議員の挨拶、そして内野国営副会長の閉会の辞で終了した。

賀詞交歓会では、昨年二度に渡り実施し、区民に好評だったプレミアム付き区内共通お買い物券事業に対する話題と各関係機関への謝辞、また来年実施を予定されている消費増税対策の国、東京都、区の商店街への継続支援の要望などが話題となった。

賀詞交歓会で挨拶を述べる小野塚鷹一荒川区商店街会長

◆小野塚会長挨拶要旨◆

昨年のプレミアム事業に謝辞

昨年実施のプレミアム付き区内共通お買い物券事業について、5月実施の国の景気対策の3億6千万円、暮れに実施の区独自の1億1千万円と二度に渡り実施、暮れの同事業は、発売から20分程で完売するなど大好評の恒例事業に成長。これらの商店街振興事業への多大のご支援を頂いたことを区など関係団体に謝辞。

今後も商店街は地域コミュニティの担い手として、地域住民の日常生活を支え、安全安心、福祉や子育て支援など、地域文化の伝承等公共的な役割を果たしながら商店街活動を進めていくことを誓った。

また、来年予定される消費増税に伴う軽減税率対策として中小事業者へ引き続きの支援をお願いした。

◆西川太一郎荒川区長挨拶要旨◆

商店街と共に地域振興に努力

来年予定される消費増税に伴う軽減税率は大きな課題であるが、商業者の努力と工夫で跳ね返す頑張りを期待したい。

区としても、地域コミュニティの担い手である商店街を産業経済部長を中心に全力でサポートし、商店街と一緒に頑張り、地域のために一生懸命お手伝いをさせて頂く。


富永新三郎東京商工会議所荒川支部会長の音頭で乾杯


会場に入られる西川太一郎荒川区長